

# 英語科学習指導案

Date : Friday, May 27, 2011 (1st period)

Class : 1-5 (20 boys, 20 girls) 40 students

Instructor : Makoto Yamauchi

## 1 Text: NEW HORIZON English Course 1, Unit 2 学校で

### 2 Lesson Survey

本課は、新しいALTのグリーン先生に、絵美と慎が校舎内を案内するという内容である。グリーン先生を教室内に案内する途中での3人の対話、町の立体模型を見ながらの3人の対話、絵美がマイクとグリーン先生を引き合わせる場面での対話から構成されている。言語材料としては、〔主語＋動詞〕に補語が加わった文構造である This[That] is... や、その疑問文 Is this [that]...? とその応答、また指示代名詞 that や this に加え、人称代名詞 he や she を用いて、友人や先生について簡単な紹介をするための表現などが扱われている。これらのことにより、本課は、ALT や身近にいる外国人と互いの学校について紹介し合ったり、自己紹介をし合ったりすることで、もっと日本のことを伝えたい、外国のことを知りたいというコミュニケーションへの意欲をかき立てる題材であると考えられる。

このような題材の特性を活かし、生徒が、ALT や身近にいる外国の人たちに、自分の学校や友人のことについて説明したり、紹介したりできるような授業を展開したい。そのためには、まず、教科書の内容を中心に、人や物を紹介するために必要な言語材料等を理解させる。その際、小学校における外国語活動との接続を意識し、それらの言語材料等について体験的に理解を深められるように工夫する。次に、具体的な場面を設定しながら、基本的な表現や英語の音声の特徴への理解を十分に深めさせた上で、実際にALT と対話する活動を取り入れる。

具体的には、本課においては「聞くこと」「話すこと」に重点をおき、「附属中の案内ビデオを作ろう」という large task を設定した。活動内容としては、まず、第1時に、オリエンテーションとして単元のあらましを理解させ、生徒に本単元への意欲づけを行った上で、large task の設定を行う。第2時には、This[That] is... の肯定文の形・意味・用法の理解と表現練習を行った上で、Part1の内容を理解させ、附属中の校内の映像を見ながら、案内する活動を行わせる。第3時には、疑問文 Is this[that]...? や、その応答の形・意味・用法の理解と表現練習を行わせ、Part2の内容を理解させた上で、附属中学校周辺について、地図を用いて紹介する活動を行わせる。第4時には、人称代名詞 he(she) を用いた文の形・意味・用法を理解させ、Part3の内容を理解させる。その後、互いに友人を紹介し合う活動を行わせる。第5時には、middle task 「ニック先生に附属中を案内しよう」を設定し、既習の言語材料等を自分なりに工夫して、活用できるようにさせる。第6時には、large task に取り組ませ、ALT のニック先生に、映像を使って校内を案内しながら、自分や友人を紹介する活動を行わせる。第7時には、第6時に行った活動に対する相互評価やニック先生のフィードバックをもとに、再度、発表する場面を設定することで表現の質の向上を図る。

このような指導を通して、4技能を統合した活動の中で体験的に言語材料等を理解させることで、英語を理解する力や英語で表現する力を高め、自ら考え、英語でよりよく理解・表現しようとする生徒を育成できると考える。

### 3 Class Survey

本学級の生徒は、20名が附属小学校、20名が公私立小学校出身の生徒である。授業には明るく積極的な態度で参加している生徒が多く、コミュニケーションを図ろうとする意欲も高い。しかし、先行実施している学校と、総合的な学習の時間の中で実施している学校の間で比較すると、小学校における英語を使った活動の体験には、違いがある。そこで、小学校で体験してきたことや中学校での英語学習を進める中で不安に感じている部分、そして今回の large task に対する生徒の興味・関心について把握し、指導に役立てるために以下のアンケートを行った。

(実施日：平成23年4月12日(火) 対象者：1年5組 40名)

- ① 小学校のとき、英語を使った活動をどのくらい体験しましたか。  
ア 週に1回程度 80% イ 月に1回程度 20% ウ 年に数回程度 0% エ ほとんど体験していない 0%
- ② 小学校の英語を使った活動の中で、一番楽しかった活動はどんな活動でしたか。  
ア ALT や JTE の先生とおしゃべり・・・45%  
イ スキット発表・・・28%  
ウ 英語ノートを使った活動・・・10% (夢を伝え合う、ビンゴ、カルタ、電子黒板を使った活動等)  
エ その他・・・17% (歌、ゲーム、劇、クリスマスパーティー等)
- ③ 中学校の英語学習を進める中で、今不安を感じていることは何ですか。自由に書きなさい。  
ア 書くこと・・・35% オ 話すこと・・・3%  
イ 覚えること・・・28% カ 聞くこと・・・2%  
ウ 特にない・・・13% キ その他・・・14%  
エ 読むこと・・・5% (みんなについていけるか、文法、成績、忘れ物等)
- ④ 中学校での英語学習で、できるようになりたいことはどんなことですか。自由に書きなさい。  
ア 書くこと 43% イ 話すこと 38% ウ 読むこと 10% エ 聞くこと 7%  
オ その他 2% (英語検定準2級を取ること、発音を良くすること等)
- ⑤ 活動をするときに、一番好きな学習形態は次のうちどれですか。また、その理由を書きなさい。  
ア グループ 83% (他の意見が聞けるから、安心感がある、助け合ったり、高め合ったりできる等)  
イ 個人 13% (自分のペースで進められるから、コツコツ一人で学習するのが好きだから等)  
ウ ペア 5% (他の人の知識が得られるから、特に男女ですると恥ずかしさを減らせられるから等)
- ⑥ 中学校の英語学習で、興味があり、やってみたい活動はどんな活動ですか。  
ア 書く 40% イ 話す 33% ウ 聞く 10% エ 読む 10% オ その他 7% (歌やゲーム等)
- ⑦ 初めて授業に来られる、ALT の先生に、次の場面でどんなことを紹介したいですか。自由に書きなさい。  
ア 附属中学校内を紹介する場面 (サイレントゾーン、図書室、各教室、購買部、7本のイチョウの木等)  
イ 附属中学校の周辺の町の様子を紹介する場面 (大学、JR、天文館、附属小、市電、アミュプラザ等)  
ウ 自己紹介をする場面 (好きなスポーツ、名前、趣味、年齢、好きな教科、好きな食べ物、特技、好きな色等)  
エ 友達を紹介する場面 (趣味、長所・短所、好きなもの、名前、年齢、特技、出身校、好きなスポーツ等)

アンケート結果によると、小学校において、多くの生徒が週に1回、もしくは月に数回の外国語活動を経験している。また、ALTやJTEと英語を使って話をしたり、スキット発表を行ったりするなどの活動を楽しんできたことが分かる。しかしながら、英語を使って他者とコミュニケーションを図ることは、好きと答えている生徒が多い一方で、あまり好きではないと答えている生徒も少なくはない。その理由としては、覚えられない、自信がない、上手く伝わらないなど、今自分のもっている英語の知識や技能が適切かどうか確認することができず、不安を抱えていることが予想される。また、多くの生徒が中学校での英語学習を進めていく中で、「書くこと」「覚えること」ができるようになりたいと考えている一方で、不安を抱えている生徒が多いことも分かる。

そこで、本課では小学校で経験した体験的な活動を意識し、楽しいコミュニケーション活動を実践する中で、体験的に言語材料等を定着できるような授業を展開することを心がけたい。その上で、授業の終末時に、言語材料等の知識や技能を整理し、まとめを行うことで、今自分のもっている英語の知識や技能が適切かどうかを確認できるようにする。

また、本課までは「聞くこと」「話すこと」に重点を置いた言語活動を行いながら、英語の表現や音声の特徴への理解を深め、Unit3での「書くこと」の活動にスムーズに取り組めるようにしたい。なお、活動の際には、グループ活動を取り入れ、互いに助け合ったり、間違いを恐れず積極的に活動したりできるようにしたい。

## 4 Lesson Plan

### (1) タスク 「附属中の案内ビデオを作ろう」

### (2) 言語の使用場面と言語の動き

言語の使用場面	言語の働き	表現形式
・校内の案内 (廊下に飾ってある地図)	<説明する>	This is your country. Canada is my country. That's our classroom.
・校内の案内 (町の立体模型図)	<質問する>	Is this a park? Is that a school?
	<答える>	Yes, it is. No, it's not.
	<相づちをうつ>	I see.
・人の紹介	<紹介する>	This is my friend Mike. This is Ms. Green. He's from Australia. She's our new English teacher.
	<挨拶する>	Hi. Nice to meet you. Nice to meet you, too.

(3) Allotment(4/7)  は本時

	Tasks	言語材料等の活用場面	活用場面における4技能の統合			
	主な学習内容		L	S	R	W
第1時	<b>small task</b> 単元のあらましを理解しよう ・ オリエンテーション, Unit2 のスキーマ形成 ・ large task の設定 ・ 附属中の案内ビデオ作成に必要な情報の収集	スキーマ形成に向けて、インタラクションを図る場面	◎↔○			
第2時	<b>small task</b> ニック先生に附属中学校内を案内しよう ・ Part1 の内容理解と音読練習, This(That) is...の肯定文の形、意味、用法の理解と表現練習 ・ 校内を案内する練習と発表	校内を案内する映像にあわせて、紹介する場面	○↔◎			
第3時	<b>small task</b> ニック先生に附属中学校周辺の町の様子を紹介しよう ・ Part2 の内容理解と音読練習, This(That) is...の疑問文とその応答の文の構造の理解と表現練習 ・ 絵やジェスチャーによる対話 ・ 附属中周辺の町の様子を紹介	与えられたトピックに従って、絵やジェスチャーを使って対話したり、町の様子を映像を使って、紹介したりする場面		◎←○		
第4時 (本時)	<b>small task</b> ニック先生に友人を紹介しよう ・ Part3 の内容理解と音読練習, he(she)などの人称代名詞を用いた文の形・意味・用法の理解 ・ ALT のニック先生への友人紹介	映像を用いて、様々な人物を ALT のニック先生に紹介する場面	○↔◎			
第5時	<b>middle task</b> ニック先生に附属中を案内しよう ・ be 動詞のまとめと単語と文の書き方 ・ 既習の言語材料等を用いた自己紹介の練習と発表	校内や町の様子、友人の紹介を交えた自己紹介をする場面		◎←○		
第6時	<b>large task</b> 附属中の案内ビデオを作ろう ・ 附属中案内ビデオの作成 ・ 附属中の案内の練習と発表 ・ 相互評価、自己評価とフィードバック	附属中の案内ビデオ映像にあわせて、案内の練習と発表をする場面	○↔◎			
第7時	<b>large task</b> ニック先生に附属中の案内をしよう ・ フィードバックをもとにした、案内の修正と練習 ・ 附属中の案内の最終発表	附属中案内の修正や練習をし、再度、発表をする場面	○↔◎			

(4) 評価規準表

〔タスク〕：附属中の案内ビデオを作ろう

〔目標行動〕：附属中の案内ビデオの映像に合わせて、英語で ALT に附属中学校の校内を案内したり、自分や友人のことを紹介したりすることができる。

評価計画	観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
	評価場面(評価方法)	・ 評価規準	・ 評価規準 ○指導の手だて	・ 評価規準 ○指導の手だて	・ 評価規準
第1時	校内を案内する映像に合わせて、英語で紹介する場面 (観察、インタラクションによる英問英答)	(言語活動への取組) ・ 教師の質問等について、簡単な言葉や動作などで反応している。	(適切な発話) ・ 聞き手を意識して、強調したり繰り返したりして話すことができる。 ○ 聞き手からのフィードバックをもとに、紹介させる。	(適切な聞き取り) ・ 教師の質問を聞いて、簡単な言葉や動作などで適切に応じることができる。 ○ 相手に聞き返すなどの工夫をしながら聞き取らせる。	(言語についての知識) ・ 教師の質問に答えるための語句や表現等を知っている。
第2時	校内を案内する映像に合わせて、英語で紹介する場面 (観察、自己評価・相互評価)	(言語活動への取組) ・ 間違いを恐れず積極的に話している。	(適切な発話) ・ 聞き手を意識して、強調したり繰り返したりして話すことができる。 ○ 聞き手からのフィードバックをもとに、紹介させる。		(言語についての知識) ・ this(that) is...の肯定文の形・意味・用法など、校内を案内するために必要な語句や表現、文法などを知っている。
第3時	与えられたトピックに従って、絵やジェスチャーを使って対話したり、町の様子を映像を使って紹介したりする場面 (観察、自己評価・相互評価)	(言語活動への取組) ・ 相づちをうつつなど、相手の話に関心をもって聞いている。	(適切な発話) ・ 聞き手を意識して、強調したり繰り返したりして話すことができる。 ○ 聞き手からのフィードバックをもとに、紹介させる。		(言語についての知識) ・ this(that) is...の疑問文やその応答の形・意味・用法を理解している。
第4時	映像を用いて、様々な人物をALTのニック先生に紹介する場面 (観察、発表原稿の内容)	(言語活動への取組) ・ 間違いを恐れずに積極的に友人を紹介している。	(適切な発話) ・ 聞き手を意識して声量に気を付けながら、場面にあわせた表現を用いて友人を紹介することができる。 ○ 教科書の表現を活用しながら紹介させる。		(言語についての理解) ・ he(she)などの人称代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。
第5時	校内や町の様子、友人の紹介を交えた自己紹介をする場面 (観察、発表原稿の内容)	(コミュニケーションの継続) ・ 身振り手振りや既習の表現をうまく利用して表現している。	(適切な発話) ・ 適切な声量や明瞭さで話すことができる。 ○ 聞き手からのフィードバックをもとに、表現させる。		(言語についての知識) ・ 校内や町の様子、友人を紹介するために必要な言語材料等を知っている。
第6時	附属中の案内ビデオ映像に合わせて、案内の練習と発表をする場面 (観察、発表原稿の内容)	(コミュニケーションの継続) ・ 身振り手振りや既習の表現をうまく利用して表現している。	(適切な発話) ・ 場面や状況にあわせた表現を用いて話すことができる。 ○ 教科書の表現を活用しながら話させる。		(言語についての知識) ・ 英語の音声の特徴を知っている。
第7時	附属中案内の修正や練習をし、再度発表する場面 (観察、自己評価・相互評価)	(言語活動への取組) ・ 聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。	(正確な発話) ・ 英語の音声の特徴に気を付けながら話すことができる。 ○ 教科書本文の音読練習をしなが、音声の特徴に気付かせる。		(言語についての知識) ・ 英語の音声の特徴を知っている。
単元テストや定期テストを用いた理解度の確認			(適切な発話) ・ 場面に応じた表現を用いて、話すことができる。 (正確な発話) ・ 語句や表現、文法などの知識を活用し、正しく話すことができる。	(適切な聞き取り) ・ 英文の内容の、概要や要点を適切に聞き取ることができる。 (正確な聞き取り) ・ 語句や表現、文法などの知識を活用して、短い英語の内容を正しく聞き取ることができる。	(言語についての知識) ・ this(that) is...を用いた文の形、意味、用法を理解している。 ・ 人称代名詞 he(she)を用いた文の形、意味、用法を理解している。

## 5 Aims of This Period

### (1) 本時のタスク

「ニック先生に友人を紹介しよう」

### (2) 指導の重点

「話すこと」「聞くこと」

### (3) 本時の目標行動

導入時において、キーワードゲームにより、十分学習への雰囲気作りを行った後、ビデオレターでの自己紹介スキットを見る。その際、インタラク션을図りながら、体験的に本時において使用する言語材料等を理解する。その後、様々な人物を紹介する活動を通して、基本的な表現への理解を十分深める。また、教科書本文の聞き取りや音読練習を通して、発音やアクセントなど、英語の音声の特徴への理解を深めた後、ALTのニック先生に友人を紹介する。授業の終末時に、本時で学習した言語材料等の知識や技能をノートに整理し、まとめを行う。

### (4) 本時の指導目標

ア 友人と協力しながら、間違いを恐れずに積極的に友人を紹介する態度をはぐくむ。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

イ 聞き手を意識して、発音やアクセント、声量等に気をつけながら、場面に合わせて、友人を紹介することができるようにさせる。

【外国語表現の能力】

ウ 友人紹介の内容を聞く際、メモを取るなどして適切に聞き取り、理解できるようにさせる。

【外国語理解の能力】

エ 友人の紹介をする上で、必要な表現や文構造について理解させる。

【言語や文化についての知識・理解】

### (5) 授業設計上の工夫

#### ・ 小学校における外国語活動との接続を意識した言語活動の工夫

今回の学習指導要領改訂で小学校に外国語活動が導入され、特に音声面を中心として外国語を用いたコミュニケーション能力の素地が育成されることになった。そこで、本課までは音声面を中心とした小学校での外国語活動との接続を意識して、「話すこと」「聞くこと」などに重点を置くようにする。

具体的には、授業においては、生徒に写真や実物、スキット等を見ながら、言語材料等の意味や働きをとらえさせる。また、ALTのビデオレターの活用によって臨場感をもたせることで、必要感を感じながら主体的にタスク設定を行わせ、意欲的にコミュニケーション活動を行うことができるようにする。また、そのとらえた言語材料等の内容を活用し、友人を実際にALTに紹介する等の活動を行うことで、体験的に理解を深めさせる。その後、その内容を知識として整理できるようにまとめの活動を行わせる。このことにより、小学校における外国語活動との接続をスムーズに行うと共に、表現することを意識しながら主体的に英語を聞こうとする態度をはぐくみ、英語を理解する力を高めることができると考える。

(6) 本時の実際 (4 / 7)

区分	教授=学習過程	時間	生徒の活動	指導上の留意点 ◆ 評価 □ 補説 (研究との関連)
導 入	<p>Start</p> <p>Greetings 1</p> <p>Warm Up 2</p>	10'	<p>1 英語であいさつをする。</p> <p>2 キーワードゲームを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語学習の雰囲気を作るために、大きな声で元気にあいさつさせる。</li> <li>教科書の内容や小学校で慣れ親しんでいる身近なことばを用いることで、学習への意欲や雰囲気を作る。</li> </ul>
展 開	<p>Grasping Task 3</p> <p>New Expressions 4</p> <p>Oral Interaction 5</p> <p>Listening 6</p> <p>Check of Understanding 7</p> <p>Aux.</p> <p>Yes</p> <p>Reading Aloud 8</p> <p>Activity 9</p> <p>Presentation 10</p> <p>Aux.</p> <p>Yes</p>	30'	<p>3 本時のタスクを把握する。</p> <p>4 友人紹介に必要な言語材料等をインタラクションやパターンプラクティスを通して、理解する。</p> <p>5 教科書の本文の概要を把握する。</p> <p>6 リスニングのポイントに従って、教科書の内容を理解する。</p> <p>7 教科書の内容に関する教師の質問に答える。</p> <p>8 教科書を音読する。</p> <p>9 ALTのニック先生に、友人を紹介する。</p> <p>10 全体で友人紹介の発表をする。</p>	<p>◆ ニック先生に友人を紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ALTのニック先生の友人紹介ビデオを見せながら、インタラクションを図り、主体的なタスク設定ができるようにする。</li> <li>ニック先生の友人紹介ビデオの内容を想起させながら、体験的に言語材料等を理解させる。(教科論 6-(1)-イ)</li> <li>ピクチャーチャートを用い、スキーマを活性化させた上で、概要を把握させる。</li> <li>生徒の理解の状況を把握しながら、段階に応じて、段階的に新出語句を与え、練習させる。</li> <li>◆ 教師の質問に、適切に答えることができたか。</li> <li>□ 教科書の文を見ながら、再度聞き取りを行わせ、その後質問に答えさせる。</li> <li>◆ 間違いを恐れずに積極的に、発表することができたか。</li> <li>□ 再度、ペアで練習、確認させ、自信をもたせた上で、発表させる。</li> </ul>
終 末	<p>Evaluation 11</p> <p>Assignments 12</p> <p>End</p>	10'	<p>11 本時で学習した表現を振り返りながらまとめを行う。</p> <p>12 今後の活動の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インタラクションを図りながら、体験的に理解した言語材料等を整理させる。(教科論 6-(1)-イ)</li> <li>次時の middle task への見通しをもたせる。</li> </ul>